

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/小児看護学】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
小児看護援助論Ⅱ		NSP33_005	必修	1	3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山本 富士子 他		402	fujiko.yamamoto	金曜日 12：10～13：00		
授業の目的・概要		小児領域で特徴的な疾患について、病態生理および病児とその家族についての情報収集・アセスメント・看護計画立案および評価という一連のプロセスを展開することを目的とする。一定の個人ワークの後、同事例を検討しているメンバーとの意見交換をしながら、看護過程の展開の実際を学ぶ。				
授業形式・方法		☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習)	☒ 講義 ☐ 実習	☒ 演習 ☐ 実技	☐ PBL ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ その他（ ）	☐ 反転授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク
学習上の助言		学生が主体となり学習を進めていく授業形態（アクティブラーニング）のため、事前事後学習は各自行うこと。事例の疾患・症状・検査・治療・看護・病態関連図について調べてくること。				
教科書		系統看護学講座 小児看護学1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 /著:奈良間美保 他 /医学書院/2025 系統看護学講座 小児看護学2 小児臨床看護各論 /著:奈良間美保 他 /医学書院 /2025 [2冊指定]				
参考書		発達段階からみた小児看護課程＋病態関連図（第4版） /編:石黒彩子 他 /医学書院 /2021				
外部教材		特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	発達段階から捉えたアセスメントができる。			NS(1)		
②	疾患・治療から捉えたアセスメントができる。			NS(1)(3)		
③	家族の状況から捉えたアセスメントができる。			NS(2)(3)		
④	①～③にもとづき立案した看護計画およびケアの実施方法について説明できる。			NS(1)(4)		
⑤	疾患をもつ子どもと家族に対して、必要な看護を考えることができる。			NS(4)(5)		
⑥	病院を受診する子どもと家族について説明ができる。			NS(3)～(5)		
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	事例の紹介。 情報の整理。データベース用紙に記入する。 受けもち児の発達段階と疾患について学習する。		講義・演習	講義を基に課題を実施 課題：発達段階と疾患について事前学習		1
2・3	アセスメントの書き方について学習する。 発達段階・疾患の病態生理・治療の視点から捉えたアセスメントを記述する。		講義・演習	講義を基に課題を実施 課題：「アセスメント」の作成		2
4・5	アセスメントの書き方の復習 ディスカッションにより、小児の看護アセスメントの理解を深める。		演習	課題：「アセスメント」を完成させる。		2
6・7	関連図の書き方について学習する。 事例について、発達段階・病態生理・治療の視点から関連図を描く。		講義・演習	講義を基に課題を実施 課題：「関連図」の作成		2
8・9	関連図の書き方の復習 看護問題を抽出する。 ディスカッションにより、小児の看護問題抽出の理解を深める。		講義・演習	講義を基に課題を実施 課題：「関連図」「看護問題」を完成させる。		2
10・11	看護計画の書き方を学習する。 看護計画の書き方の復習 ディスカッションにより、小児の看護計画の理解を深める。		講義・演習	講義を基に課題を実施 課題：「看護計画」の作成、完成		2
12・13	演習：疾患をもつ子ども・家族との関わり方 病室にいる子どもとのコミュニケーション、看護援助		演習	基本的な関わり方について、教科書や資料を見て学習してくる。		2
14・15	テーマ「看護援助を通しての学び」についてグループワーク、発表 提出記録のまとめ		講義・演習	記録物をまとめる。		2
試	達成度評価、評価のポイント参照					

【専門科目領域/専門科目群/看護の展開/小児看護学】

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	80	0	10	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	5	0	25
	思考・推論・創造する力	0	20	0	5	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①		情報をアセスメントし、看護計画を立案したものをレポートし、各アセスメントの目的に沿った内容で記載されていること。			添削し、領域実習オリエンテーション時に返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	アセスメントに必要な知識や、看護実践に必要な方法、各アセスメント段階で調べた資料を提出する。			内容を確認し、コメントを入れ領域実習オリエンテーション時に返却する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
その他	①	✓	授業中の態度や参加度、提出方法や状況を基に評価する。また、出席数や妨害なども評価の対象となる。積極的に授業に参加すること。			問題のある行動をした学生には、注意をする。提出に問題があるときは、コメントを入れる。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
他 担 当 教 員		東福寺 愛実					
教 員 の 実 務 経 験		担当する看護教員は、看護師として実務経験 15 年以上有したものが担当する。					
実践的授業の内容		この教科は、担当教員が臨床看護実践で得た経験を基に、リアリティーのあるペーパーペーシェントを作成する。それにより、実践に近い病態生理および病児とその家族についての情報収集・アセスメント・看護計画立案および評価という一連のプロセスの展開方法を学ぶ機会とする。					
そ の 他		・取り上げる疾患については、オリエンテーション時に説明する。 ・学習方法としては、個人学習を基本にしている。その際、節度ある姿勢で取り組むこと。					